



「Active School Kai Project」 = A S K P プロジェクト

- ・ 令和4年度入学生から新学習指導要領が実施となり、学校全体で取り組むカリキュラム・マネジメントの一環として、「指導と評価の一体化」を進めていくことになりました。
- ・ 学校の教育課程を、家庭や地域社会と共有する「社会に聞かれた教育課程」の実現も同時に進めていくことになりました。
- ・ A S K P プロジェクトは、教育力向上を図るプロジェクトとしてすべての県立高校で実施してホームページで公開しています。

令和6年度甲府一高・A S K P プロジェクト関連の公開日程

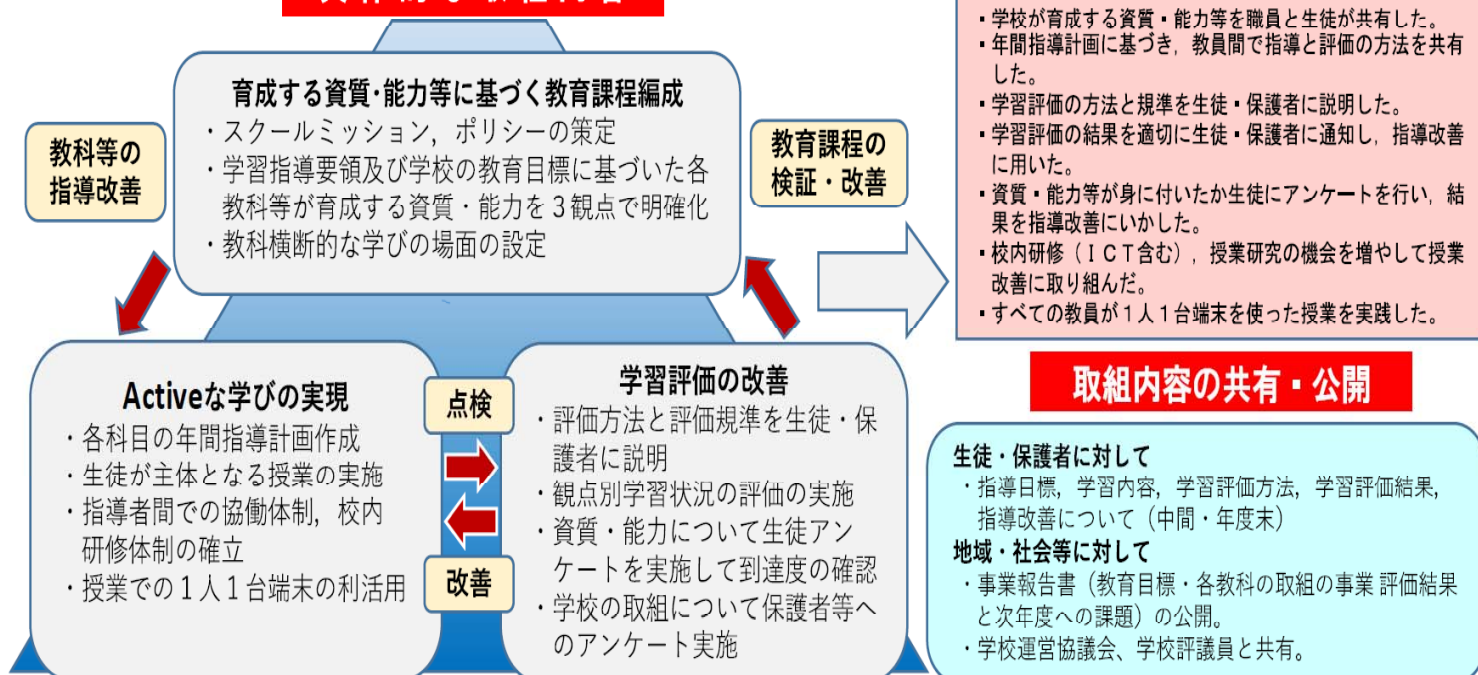
- ① A S K P プロジェクト各教科(観点別学年別)実施計画公開(4/1)
- ② A S K P 授業アンケートⅠ(7/8～)⇒中間結果報告公開(9/19)
- ③ A S K P 授業アンケートⅡ(1/8～)⇒年間結果報告公開(2/7)
- ④ 保護者アンケート結果公開 & 次年度への教科別課題公開(2/7)

未来を拓く Active School Kai Project

概要

- ◆ **改** 主体的・対話的で深い学びの視点による**授業と学習評価の改善**に向けた取組を徹底し、生徒の学習意欲の向上と、教員の指導改善を図る。
- ◆ **回** 学習指導要領の理念とスクールミッション、スクールポリシーに基づき、各学校の教科等の指導において育成する資質・能力を定め、達成状況の評価と改善を図るP D C Aサイクルを**回す**。
- ◆ **開** 学校全体及び各教科の目標と、指導・評価・改善の取組について、生徒・保護者に積極的に通知するとともに、年度末に各校のホームページで**公開**し、**社会に開かれた教育課程**を実現する。
- ◆ **Kai** 1人1台端末を活用して、**kai.ed**で繋がる生徒と教員が情報活用能力を高め、「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実する。またそのための校内研修体制を確立する。

具体的な取組内容



ToDo

R4年度

R5年度

R6年度

R4入学生
学力目標
設定

生徒授業アンケート
保護者等アンケート

事業
中間評価
検証・改善

生徒授業アンケート
保護者等アンケート

事業
年次評価
検証・改善

1,2年次で実施

1～3年次で実施

事業の
検証・改善
HP公開

令和6年度_甲府一高・ASKPプロジェクト実施計画

学校番号 全・定・通	4 全	学校名 学年	甲府第一高等学校 1	在籍生徒数	219 名
教育目標 (学力に関するもの)	1 日に新たに、真理を探究する。 2 自由の精神のもと、自主自律に徹する。				
育てたい生徒像 身に付けさせたい資質能力	1-1主体的に学ぶ 1-2知識を創造するために活用する 1-3考えを表現する 2-1タイリョク(体力/耐力)がある 2-2答えのない課題にひるまない 2-3道徳心がある 3-1複眼的視点を培う 3-2他者と協働できる 3-3状況に応じて自己変換できる				

各教科の取組

教科	身に付けさせたい資質・能力	中間評価
国語	基礎事項の定着により、文章の論理構造をとらえることができる。	4. 1
	論理的に考え、他者との関わりの中で考えを伝えることができる。	4
	文学や伝統的言語文化にも関心を持ち、国語の能力を向上させようとする態度を養うことができる。	4. 1
地公	知識・技能の習得を既存の知識・技能と関連づけ、活用する中で他の学習や生活場面でも活用できる。	3. 9
	知識・技能を活用し課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力を身につけることができる。	3. 8
	自らの学習状況を把握し、学習を調整しながら学ぼうとする意思を身につけることができる。	4
数学	数学における基本的な概念や原理・法則を理解し、様々な事象を数学的に処理することができる。	4. 3
	数学を活用して事象を論理的に考察したり、事象を簡潔・明瞭・的確に表現することができる。	4. 1
	授業や課題に主体的に取り組み、粘り強く考えることができる。	4. 3
理科	自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察・実験に必要な技能を身につけることができる。	4
	観察・実験を行い、得られた結果について科学的に考察し、評価できる。また、自らの考えをわかりやすく伝えることができる。	3. 8
	観察・実験を仲間と協働して行い、結果についてディスカッションすることで理解を深められる。また、新たな課題を見出すことができる。	4
英語	基礎的な知識・技能の習得により、英文の基本的な構造を理解し、身近なことの情報や考えを適切に表現できるようになる。	3. 9
	英語を通じて、社会的な幅広い話題についての自らの考えなどを論理的・説得的に構成・表現することができる。	3. 9
	他者に配慮しながら伝える・発表を聞き積極的に質問する等、主体的・自律的にコミュニケーションをとれる。	4
芸術	芸術活動において自らの意図に基づいて表現するための技能を身につけることができる。	4. 1
	創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができる。	4. 1
	生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、心豊かな社会を創造する態度を育てることができる。	4. 3
家庭	生活を主体的に営むために必要な基礎的な知識と技能を身につけることができる。	4. 1
	生活における課題を発見し、その解決策を考え、それを、他者に論理的に表現することができる。	4. 2
	他者と協働し、自分や家庭・地域・社会における生活の充実向上を図ることができる。	4. 1
保健	種目や単元に応じ、楽しさや喜びを味わえる特性があることについて理解し、実践することができる。	4. 2
	提示されたポイントを参考に、仲間の課題や出来映えを伝えることや説明することができる。	4
	学習の補助をしたり、仲間の学習を援助することができる。また、安全に配慮することができる。	4. 3
情報	情報と情報技術を活用して問題を発見・解決する方法について理解を深めることができる。	4. 2
	問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用することができる。	4. 1
	情報と情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に主体的に参画することができる。	4. 2

学校番号	4	学校名	甲府第一高等学校		
全・定・通	全	学年	2	在籍生徒数	216 名
教育目標 (学力に関するもの)	1 日に新たに、真理を探究する。 2 心身を鍛錬し、不撓の意思を涵養する。				
育てたい生徒像 身に付けさせたい資質能力	1-1主体的に学ぶ 1-2知識を創造するために活用する 1-3考えを表現する 2-1タイリョク(体力/耐力)がある 2-2答えのない課題にひるまない 2-3道徳心がある 3-1複眼的視点を持つ 3-2他者と協働できる 3-3状況に即して自己変容できる				

各教科の取組		
教科	身に付けさせたい資質・能力	中間評価
国語	社会で必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、伝統的な言語文化に対する理解を深めることができる。	4
	論理的、批判的に考える力や、共感し想像する力を伸ばし、自分の思いや考えを他者に伝えることができる。	4
	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、言葉を通して他者や社会に関わろうとすることができる。	4. 1
地公	ICT機器を効果的に活用し、多面的多角的な考察や深い理解を通して主権者として自覚を深めることができる。	3. 9
	社会的な見方考え方を働かせ、広い視野に立ち、言語活動に積極的に取り組むことができる。	3. 8
	家庭学習と授業を有機的に結び付け、諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うことができる。	3. 9
数学	数学における基本的な概念や原理・法則を理解し、様々な事象を数学的に処理することができる。	4. 2
	数学を活用して事象を論理的に考察したり、事象を簡潔・明瞭・的確に表現することができる。	3. 9
	数学的な思考力を身につけるために、授業や課題に主体的に取り組み、粘り強く考えることができる。	4. 2
理科	自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察・実験に必要な技能を身につけることができる。	4
	観察・実験を行い、得られた結果について科学的に考察し、評価できる。また、自らの考えをわかりやすく伝えることができる。	3. 8
	観察・実験を仲間と協働して行い、結果についてディスカッションすることで理解を深められる。また、新たな課題を見出すことができる。	4. 1
英語	英文の基本的な構造を理解し、身近なことや自らについての情報や考えを適切に表現できるようになる。	3. 9
	社会的な幅広い話題についての情報や自らの考えなどを、論理的・説得的に構成・表現することができる。	3. 8
	他者に配慮しながら発表を聞いて、積極的に質問するなど、主体的・自律的なコミュニケーションができる。	3. 8
芸術		
家庭	生活を主体的に営むために必要な基礎的な知識と技能を身に付けることができる。	4. 4
	生活における課題を発見し、その解決策を考え、それを、他者に論理的に表現することができる。	4. 4
	他者と協働し、自分や家庭・地域・社会における生活の充実向上を図ることができる。	4. 2
保体	種目や単元に応じ、楽しさや喜びを味わえる特性があることについて説明し、実践することができる。	4. 4
	提示されたポイントを参考に、仲間の課題や出来映えを説明したり、修正することができる。	4. 2
	学習の補助をしたり、仲間の学習を援助し、助言することができる。安全に配慮した行動を取ることができる。	4. 5

学校番号	4	学校名	甲府第一高等学校		
全・定・通	全	学年	3	在籍生徒数	230 名
教育目標 (学力に関するもの)	1 日に新たに、真理を探究する。 2 高遠な理想のもとに、平常の実践に努める。				
育てたい生徒像 身に付けさせたい資質能力	1-1主体的に学ぶ 1-2知識を創造するために活用する 1-3考えを表現する 2-1タイリョク(体力/耐力)がある 2-2答えのない課題にひるまない 2-3道徳心がある 3-1複眼的視点を持つ 3-2他者と協働できる 3-3状況に即して自己変容できる				

各教科の取組		
教科	身に付けさせたい資質・能力	中間評価
国語	様々な種類の文章を読んだり、表現したりするために必要な語句の量を増やし、活用できる。	4
	文章に書かれていることから、自分の思いや考えを広げ、伝えたい相手に伝わるような表現にできる。	4
	専門性の高い文章について、粘り強く読み取ろうとすることができる。	4. 1
地公	ICT機器を効果的に活用し、多面的多角的な考察や深い理解を通して、主権者としての自覚を深められる。	3. 9
	社会的な見方考え方を働かせ、広い視野に立ち、言語活動に積極的に取り組むことができる。	4
	家庭学習と授業を有機的に結び付け、諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うことができる。	3. 9
数学	数学における基本的な概念や原理・法則を理解し、様々な事象を数学的に処理することができる。	4. 2
	数学を活用して事象を論理的に考察したり、事象を簡潔・明瞭・的確に表現することができる。	4. 1
	数学的な思考力を身につけるために、課題や新しい問題に主体的に取り組み、粘り強く考えることができる。	4. 3
理科	自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察・実験に必要な技能を身につけることができる。	4
	観察・実験を行い、得られた結果について科学的に考察し、評価できる。また、自らの考えをわかりやすく伝えることができる。	3. 9
	観察・実験を協働して行い、結果についてディスカッションすることで理解を深め、課題を見出すことができる。	4. 1
英語	基礎から発展的な知識・技能を用いて、英文の構造を確実に理解し、自らの考えや意見を的確に表現できる。	4
	社会的に広い話題の情報や考えを、目的・場面・状況に応じて論理的に説得力ある英語で構成・表現できる。	3. 9
	言語活動を通して、意見を積極的に述べたり、理解度を把握して、不足部分を工夫して補う努力ができる。	4. 1
芸術	芸術と文化的・歴史的背景などとの関わりや多様性について理解を深め表現するための技能を身に付けられる。	4. 9
	芸術のよさや美しさを評価しながら深く味わったりすることができ、個性豊かな表現を創意工夫することができる。	4. 7
	主体的・協働的に活動に取り組み、生涯にわたり芸術を愛好する心情を育んで、心豊かな社会を創造できる。	4. 9
家庭		
保体	種目や単元に応じ、楽しさや喜びを味わえる特性があることについて説明し、発展させることができる。	4. 2
	提示されたポイントを理解し、仲間の課題や出来映えを説明したり、具現化することができる。	4. 1
	学習の補助をしたり、仲間の学習を援助し、合意形成を図ることができる。	4. 2